

放射線内用療法

➤ ゾーフィゴ治療

ゾーフィゴに含まれるラジウム-223 は、骨の成分であるカルシウムと同じように骨に集まりやすい性質があり、注射で体内に送られると、代謝が活発になっているがんの骨転移巣に多く運ばれ、そこから放出されるアルファ線という種類の放射線が、骨に転移したがん細胞の増殖を抑えます。この作用により、骨転移した去勢抵抗性前立腺がんに対して治療効果が期待できます。



ゾーフィゴ

➤ ゼヴァリン治療

イットリウム 90 というベータ線を放出する薬品を注射で投与し、その放射線を利用してリンパ腫の治療を行うための薬です。この薬はリンパ腫の部分に選択的に集まるため、体のほかの臓器への被ばくを少なく抑えることができます。ただし、使用に際しては厳密な基準があります。詳しくは主治医または当院血液科医師までお尋ねください。